

事業名称	「香寺町 ふるさとの道」調査事業
団体名	香寺歴史研究会
協働の相手方	文化財課

目的	近世以降の香寺町内の道を現在の地図上に再現する。時代と共に失われ或いは姿を変え、人々の記憶からなくなりつつあるこれらの道を調査し記録に残す。同時に沿道の文化財についても調査記録に残す。
内容	近世の道（生野街道、八徳道、市川の横渡しから続く道、峠道）、近代の道（明治・大正時代の道）、生活の道（虫送りの道、そうれん道、牛追い道など）を調査し、現在の地形図に表す。提案型協働事業報告会を開催するとともに『香寺町 ぐらしの道』として発行、関係先に配布。
事業経過	<ul style="list-style-type: none"> ・7月中 調査内容の決定 ・8月3日 調査説明会の実施 ・8月～10月 地区会員等による調査 ・11月～2月 調査票の集計分析及び冊子の編集会議 ・2月7日 令和5年度提案型協働事業報告会開催 ・3月29日 『香寺町 ぐらしの道』発行・配布
事業の効果	近世の道、近代の道、ぐらしの道など人々の記憶から消えつつある道筋を調査し、記録に残すことができた。同時に、沿線の文化財についても調査記録することができた。
今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の結果として得られた地図を基に、歴史ウォークを実施する。 ・町内の小学校・中学校等と協働で地図に従い生野街道などを歩き、併せて沿線の文化財についても見学する。

【実施団体の事業総括・感想等】

<ul style="list-style-type: none"> ・調査に参加できた集落は、15集落で昨年度より3集落増加した。 ・近世の道（生野街道、八徳道、市川の横渡しからの道、峠道）、近代の道（明治大正の村道）は村の文書、絵図面などを参考に丁寧な調査がなされていた。 ・各集落の調査結果をもとに、旧道をめぐる作業は、大変ではあるが興味深い作業であった。 ・今回の調査のまとめは、『香寺町ふるさとの道』として発行するが、過去3年間の調査結果と共に、学校における地域調べなどに活用されることを望むとともに、地域住民参加の歴史ウォークにつなげることができるとよいと考える。
--

【協働の相手となった所管課の感想等】 ※実施団体は記入しないでください

<p>主要街道（西国街道・浜街道・飾磨街道・美作道・有馬道・生野道・丹波道・巡礼道）への関心と認知度は比較的高いが、特に各地域の生活の道は圃場整備や道路改善等により消滅していることも多く、また歴史の記憶からも消滅もしくは消滅の進行がされられない現状にある。本事業の調査と啓発は先駆的であり、市内各地域での生活のありようの変遷を認識し、課題を発見し、新たな取り組みを実践するための基礎的資料のモデルとなりうるものである。</p>
